

1. 競技について

- (1) 本競技会は、2020 年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 1 日目は女子、2・3 日目は男子の競技を行う。男子の内訳については、本稿 2. を参照のこと。
- (3) 全競技タイムレースで行う。50m 自由形は第 2 レーンから第 7 レーンの 6 レーンのみで行い、それ以外の種目は 8 レーン使用する。
- (4) 本競技会では、バックストロークレッジを使用する。
- (5) 泳ぎ終わった選手は、次組スタート後横退水すること。なお、50m 自由形はレース終了後、折返し監察員の誘導により第 0 レーン、第 9 レーンへ移動し、スタート側まで泳いで戻ること。
- (6) プールの水深は、競技開始前を 1.6m、開始後を 2.0m とする。
- (7) 商標については、プログラム掲載の商標規定を遵守すること。
- (8) FINA マークが剥離している水着を着用する場合は、プログラム付属の FINA マーク剥離届を必ず事前に記録室に提出し、審判長の許可をもらうこと。なお提出の際、各々の大学から派遣している学連委員の付き添いが必要である。
- (9) 各種目上位 10 名は、2020 年度関西学生秋季水泳競技大会 AUTUMN CHALLENGE の決勝競技に出場できる。なお、補欠は採らない。
- (10) 決勝進出において、同記録で定員より増加した場合は、抽選とする（当支部にて代理抽選を行う）。
- (11) 決勝競技のスタートリストについては、9/11 までに当支部ホームページに掲載する。
- (12) 競技を棄権する場合は、プログラム付属の棄権届出用紙に必要事項を記入し、当該競技予定開始時間の 1 時間前までに招集所に提出すること。時間内に提出しなかった場合は、棄権料 3,000 円を徴収する。
- (13) 予選競技を行った決勝競技を棄権する場合は、必ず大会当日中に記録室で配布する決勝棄権届出用紙に必要事項を記入し、提出すること。
- (14) エントリー締切日から大会当日までの間に、所属大学から対外試合禁止の通告がなされた場合は、各チームの監督または部長が secretariat@swim-kansai.com へメールでその旨を報告すれば、申込金は請求しない。
- (15) 本大会は、製本したプログラムの販売を行わない。8/24 に当支部ホームページへ掲載する PDF データを閲覧すること。なお、(14) により、エントリー数が大幅に減少する場合は公開後に再度班組を行う場合がある。その場合は改めてホームページで告知する。
- (16) 当日オープン参加は認めない。
- (17) 本大会では、公式掲示板は設置しない。競技結果は、大会終了後にスイムレコードで確認すること。

2. 大会 2・3 日目の内訳

男子の競技は下表の通り、2 日目と 3 日目に分けて開催する。

2 日 目	近畿大学	天理大学	関西学院大学	同志社大学
	大阪大学	大阪教育大学	大阪市立大学	大阪府立大学
	和歌山大学	四天王寺大学	滋賀大学	神戸市立工業高等専門学校
	桃山学院大学	龍谷大学	大阪医科大学	
3 日 目	大阪体育大学	びわこ成蹊スポーツ大学	関西大学	神戸大学
	大阪国際大学	立命館大学	京都大学	大阪商業大学
	甲南大学	摂南大学	兵庫県立大学	大阪工業大学
	流通科学大学	大阪経済大学		

3. 会場内コントロールについて

- (1) 本大会では、参加者を選手、チーム関係者、マネージャーに分けてADカードを発行する。
会場受付・更衣室・招集所では、ADカードを用いて入場コントロールを行う。
また、無観客試合とし、ADカードを所持していない者は一切入館を認めない。
- (2) ADカードは大会期間中常に首から下げて携帯し、貸し借りは絶対に行わないこと。
- (3) 選手は、出場日以外の入館は一切認めない。出場種目により入館可能時刻が決められており、1種目目の入館可能時刻以降に入館できる。なお、自身のレース終了後は速やかに退館すること。
- (4) チーム関係者、マネージャーは自校の選手が出場する全日程・終日入館を認め、一日単位にADカードを発行する。なお、更衣室には一切入場できない。
- (5) 入館可能時間は、アルファベット[A-E(終日入場はZ)]で分けられ、表1の通りとする。
ADカードを用いた入場方法は、本稿4-3.を参照のこと。
- (6) 退館時、ADカードはプラスチックケースから取り出し、受付へ返却すること。
一時退館を希望する場合は受付に申し出ること。その際、明確な理由がない限り、再入館は許可しない。

表1 アルファベット毎の入館可能時刻

アルファベット	入館可能時刻		該当種目
A	1日目	8:30	50m 自由形 女子 800m／男子 1500m 自由形 200m 個人メドレー
	2日目		
	3日目		
B	1日目	9:20	100m バタフライ 100m 背泳ぎ 100m 平泳ぎ
	2日目		
	3日目		
C	1日目	11:50	100m 自由形 400m 自由形 400m個人メドレー
	2日目		
	3日目		
D	1日目	13:20	200m バタフライ
	2日目	13:15	200m 背泳ぎ
	3日目	13:20	200m 平泳ぎ
E	1日目	15:00	200m 自由形
	2日目	14:55	
	3日目	14:55	
Z	終日 (8:45～)		(Aグループの選手入場後)

4. 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための遵守事項

大会要項から更新している。出場選手の他、当日入館するチーム関係者全員が正確に把握し、行動すること。

4-1. 大会の実施について

- (1) 所属学校が許可しない場合は、大会への参加を認めない。
- (2) マスクまたはフェイスガードは各自持参し、常に着用すること。
- (3) 参加者・関係者等との距離を常に十分確保すること。メガホンなどの応援用具、鳴り物の持ち込みは一切禁止とする。また、声を出しての応援は禁止する。
- (4) 大会出場のための団体宿泊は行わないこと。
- (5) 大会期間中および終了後の帰宅途中において、懇親会等の食事を伴う会合は控えること。
- (6) 大会期間中に大会が打ち切りとなった場合は、実施済み種目分の申込金のみを徴収する。
- (7) 中止や打ち切りとなった場合でも、発生した交通費や発注した弁当の取消料等の各種費用は当支部で負担しない。
- (8) 大会期間中、大会参加者の感染が発生した場合は、その時点で大会を打ち切る。
- (9) 国や自治体、当支部、施設管理者が定める措置や指示に従わない場合、当該者およびその者が所属する学校の出場を許可しない場合がある。

4-2. 入館について（基本事項）

- (1) 入館前 14 日間において、以下の事項に該当する者は来場を禁止する。出場選手に該当する者がいた場合は、本稿 0. (12)の手順に従い棄権手続きを行うこと。
 - ① 平熱を超える発熱
 - ② 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ③ だるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）
 - ④ 嗅覚や味覚の異常
 - ⑤ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性の診断を受けた方との濃厚接触がある場合
 - ⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ⑧ 過去 14 日以内に、政府から入国制限・入国後の監察期間を必要とされている国や地域等への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある場合

4-3. 入館の手順（全員共通）

- (1) マスクまたはフェイスガードを着用し、AD カードを首にかけての状態を受付へ向かうこと。
- (2) 会場入館には健康観察票の提出が必要である。事前にデータ配布する健康観察票を各自印刷、必要事項を記載した状態で持参すること。
- (3) 以下を手順とする。
 - ① 1 つ目の自動扉を通り、サーモグラフィチェックを通る。体温が平熱であることを確認できたら、受付係の指示により次の自動扉を通る。
 - ② 受付係に健康観察票を提出、AD カードを提示する。
 - ③ 受付係より手指消毒を受ける。
 - ④ 正面階段で 2 階へ上がり、指定された観客席に 1 席以上空けて着席し、ウォーミングアップの案内を待つこと。

4-4. ウォーミングアップ・クールダウンの手順（出場選手のみ）

- (1) 以下を手順とする。
 - ① 入館時登った階段で1階へ降り、更衣室へ向かう。
 - ② 更衣室の入り口で、首から下げたADカードを提示する。
 - ③ 更衣後は、荷物を持参したビニール袋にすべて入れる。マスクまたはフェイスガードを着用し、ADカードを首から下げた状態で更衣室を出る。
 - ④ 荷物を入れたビニール袋を、プールサイドの黄色台に置く。
- (2) ウォーミングアップ・クールダウン開始の案内は、全て場内通告（アナウンス）で案内する。通告を聞いてから更衣室へ向かうこと。通告前に更衣室入口に並ぶ行為は、絶対に行わないこと。
- (3) クールダウンを行う場合は、競技終了後に更衣室でクールダウン用の水着を着て、一度観客席へ戻ること。（2）の案内があつてから、再び更衣室を通りプールへ向かうこと。
- (4) 荷物を入れるビニール袋を必ず持参すること。
- (5) プールサイドでの混雑緩和のため、偶数レーン(0, 2, 4, 6レーン)はスタート側、奇数レーン(1, 3, 5, 7レーン)はターン側からの入水とする。
- (6) ダッシュレーンを利用する際は、前後の間隔をあけて整列すること。
- (7) 50m自由形に出場した選手は、別途クールダウンの時間は設けない。

4-5. 招集所入場の手順（出場選手のみ）

- (1) 以下を手順とする。
 - ① 入館時登った階段で1階へ降り、更衣室へ向かう。
 - ② 更衣室の入り口で、首から下げたADカードを提示する。
 - ③ 更衣後は、荷物を持参したビニール袋にすべて入れる。マスクまたはフェイスガードを着用し、ADカードを首から下げた状態で更衣室を出る。
 - ④ 第0レーン側プールサイド中ほどにある招集所に向かう。
 - ⑤ 受付員に、首から下げたADカードを提示する。キャップ・FINAマークの確認を行い、招集所へ入場する。またその際、招集員からの手指消毒を受けること。
- (2) レース出場者の更衣室入場開始は、全て場内通告（アナウンス）で案内する。通告を聞いてから更衣室へ向かうこと。通告前に更衣室入口に並ぶ行為は、絶対に行わないこと。
- (3) マスクまたはフェイスガード、ADカードはレース直前まで片時も外さないこと（更衣中を除く）。
- (4) 荷物を入れるビニール袋を必ず持参すること。

4-6. レース前後の手順（出場選手のみ）

- ① 招集員の指示でレーンに入る。
- ② レーン入場後、それまで着用していた衣服、マスクまたはフェイスガード、ADカードを全てビニール袋の中に入れ、袋ごとスタート台後面の黄色台に置く。なお、マスクを使用する者は衣服のポケットにマスクを入れておくこと。
- ③ レース終了後は、素早く更衣室へ向かうこと。更衣室から出る際には必ずマスクまたはフェイスガードを着用し、ADカードを首から下げた状態であること。
- ④ プールサイドの第0レーン側階段から観客席へ戻ること。

4-7. その他

- (1) 当支部でバスの手配は行わないが、各個人の責任の下、自家用車での来場を許可する。その際は、事前に swim.kansai@gmail.com へメールでその旨を申し出ること。なお、来場途中の事故、トラブル、ケガ、その他事由などで発生した損害に関して、当支部では一切の責任を負わない。各自が安全運転に努めること。
- (2) 館内の移動については、プールサイドを含めインシューズの使用を許可する。
- (3) 更衣室に荷物を置いたままウォーミングアップやレースに参加することは認めない。プールサイドに設ける黄色い台を荷物置場として使用すること。ただし、荷物台は次亜塩素酸を用いて定期的に消毒するため、チームウェアなど自身の荷物を管理するためのビニール袋を持参すること。自身の荷物に色落ちなどが生じても当支部は責任を負わない。
- (4) ウォーミングアップ・クールダウンにおいて、フィン、パドル、プルブイ、シュノーケル等の道具の使用は認めない。
- (5) 会場内にゴミ箱は設置しない。ゴミは各自で管理し、必ず持ち帰ること。
- (6) 競技終了後 14 日以内に新型コロナウイルス感染症陽性と診断された場合は、secretariat@swim-kansai.com へ速やかに報告すること。

以上